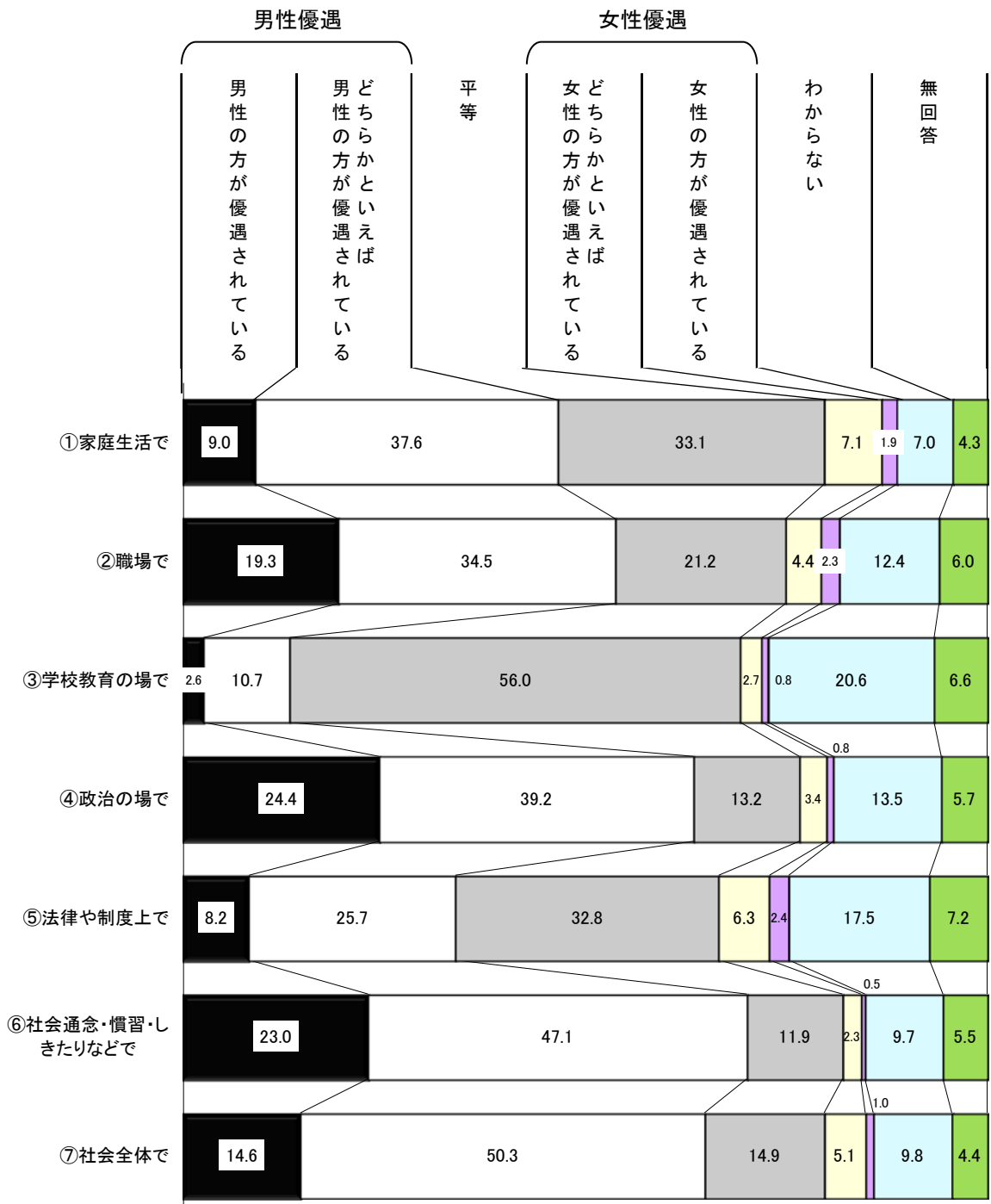


### 3. 男女共同参画

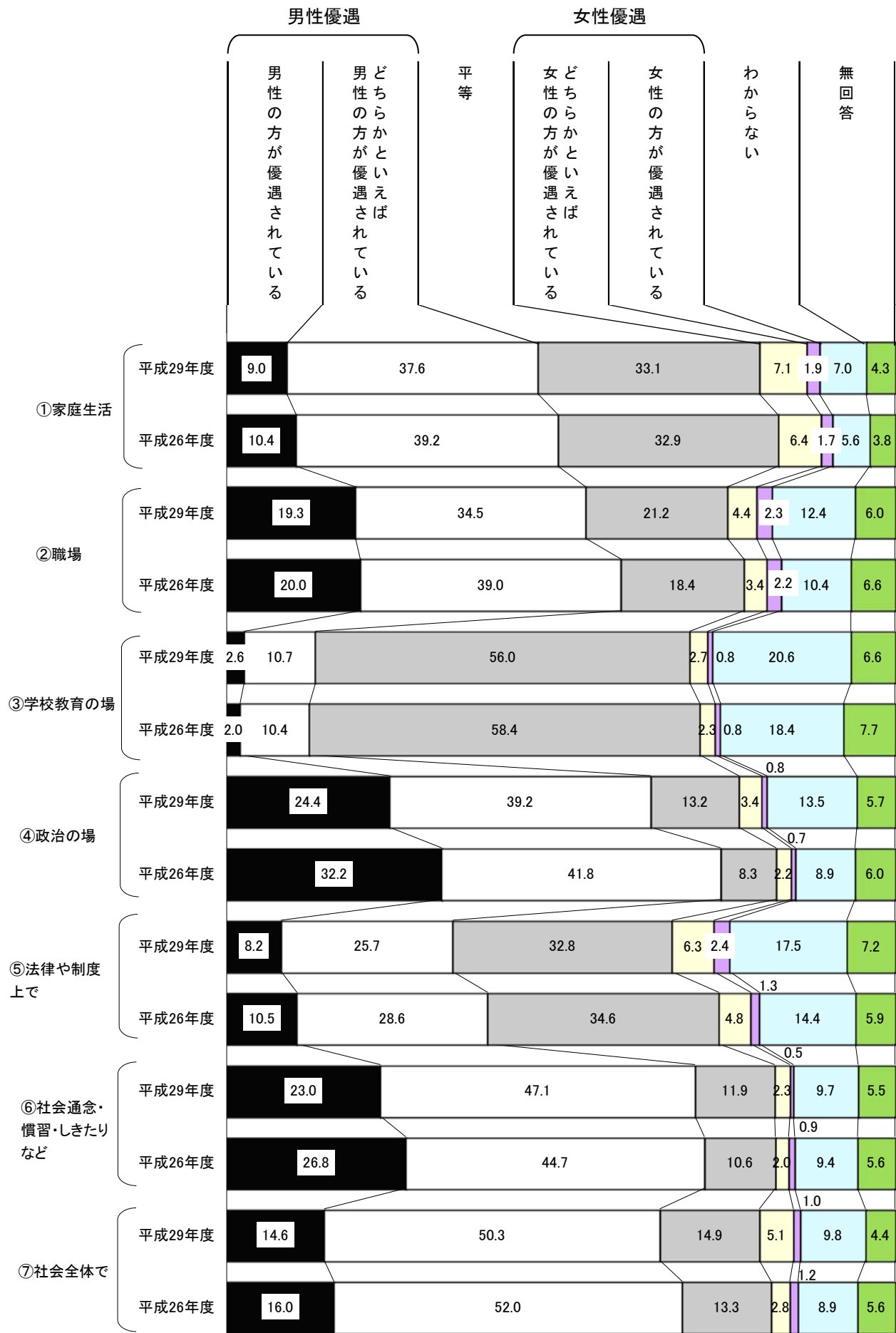
#### (1) 男女の地位の平等感

問7 あなたは、ここにあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑦のそれぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んで○をつけてください。

「家庭生活」、「学校教育」、「法律や制度上」以外は「男性優遇」が過半数以上



(単位: %)



(単位: %)

男女の地位の平等感について、「平等」と回答した割合は「③学校教育の場」が 56.0%と最も高くなっている。一方で、「男性優遇」(「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した割合は「⑥社会通念・慣習・しきたりなどで」が 70.1%と最も高く、次いで「⑦社会全体で」(64.9%)、「④政治の場で」(63.6%)の順となっており、すべての項目において「女性優遇」(「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性の方が優遇されている」)を上回っている。

前回調査との比較では「平等」と回答した割合が、「④政治の場」では 4.9 ポイント、「②職場」では 2.8 ポイント、「⑦社会全体」では 1.6 ポイント、「⑥社会通念・慣習・しきたりなど」では 1.3 ポイント、「①家庭生活」では 0.2 ポイント増加し、「③学校教育の場」では 2.4 ポイント、「⑤法律や制度の上」では 1.8 ポイント減少している。

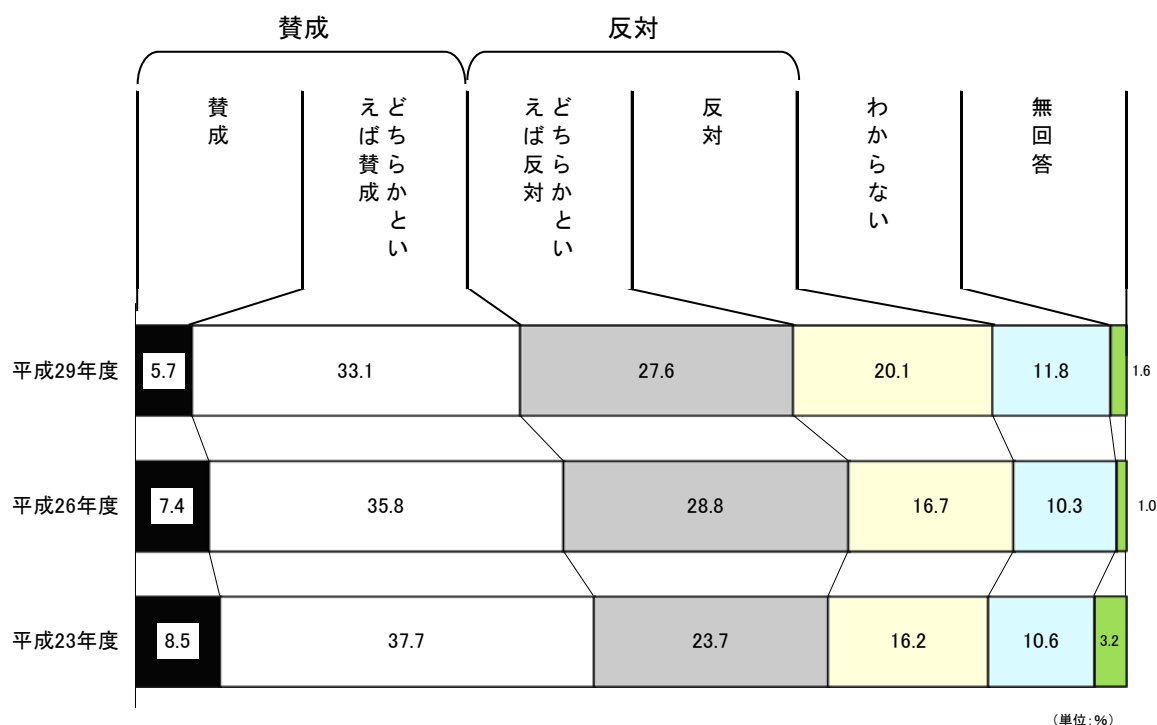
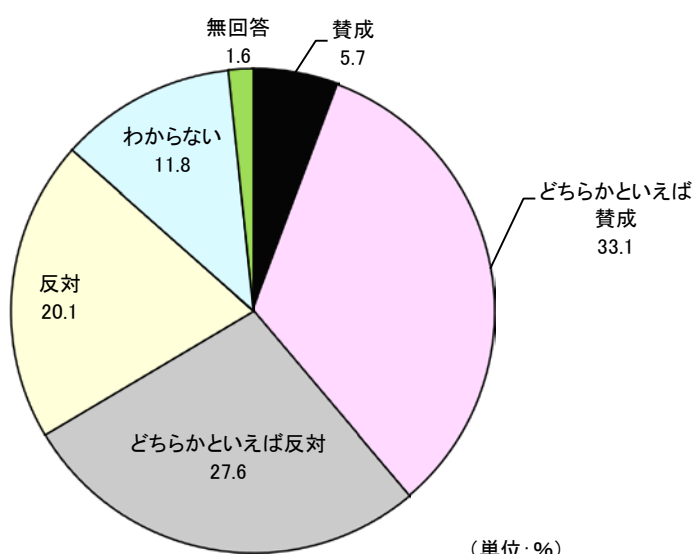
(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方

問8 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に賛成ですか。それとも反対ですか。次の中から、あなたのお気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

**「賛成」は減少。「反対」が増加し、半数近くを占める**

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した割合は 38.8%、「反対」「どちらかといえば反対」は 47.7%となっている。

前回調査との比較では、「賛成」と回答した割合が 4.4 ポイント減少、「反対」は 2.2 ポイント増加し、「反対」が「賛成」を 8.9 ポイント上回っている。



〈属性による比較〉

【生活圏別】

「賛成」は広島地方生活圏が40.9%と最も高く、最も低い備北地方生活圏(31.2%)と比べると、9.7ポイント高い。「反対」は備後地方生活圏が52.7%で最も高い。

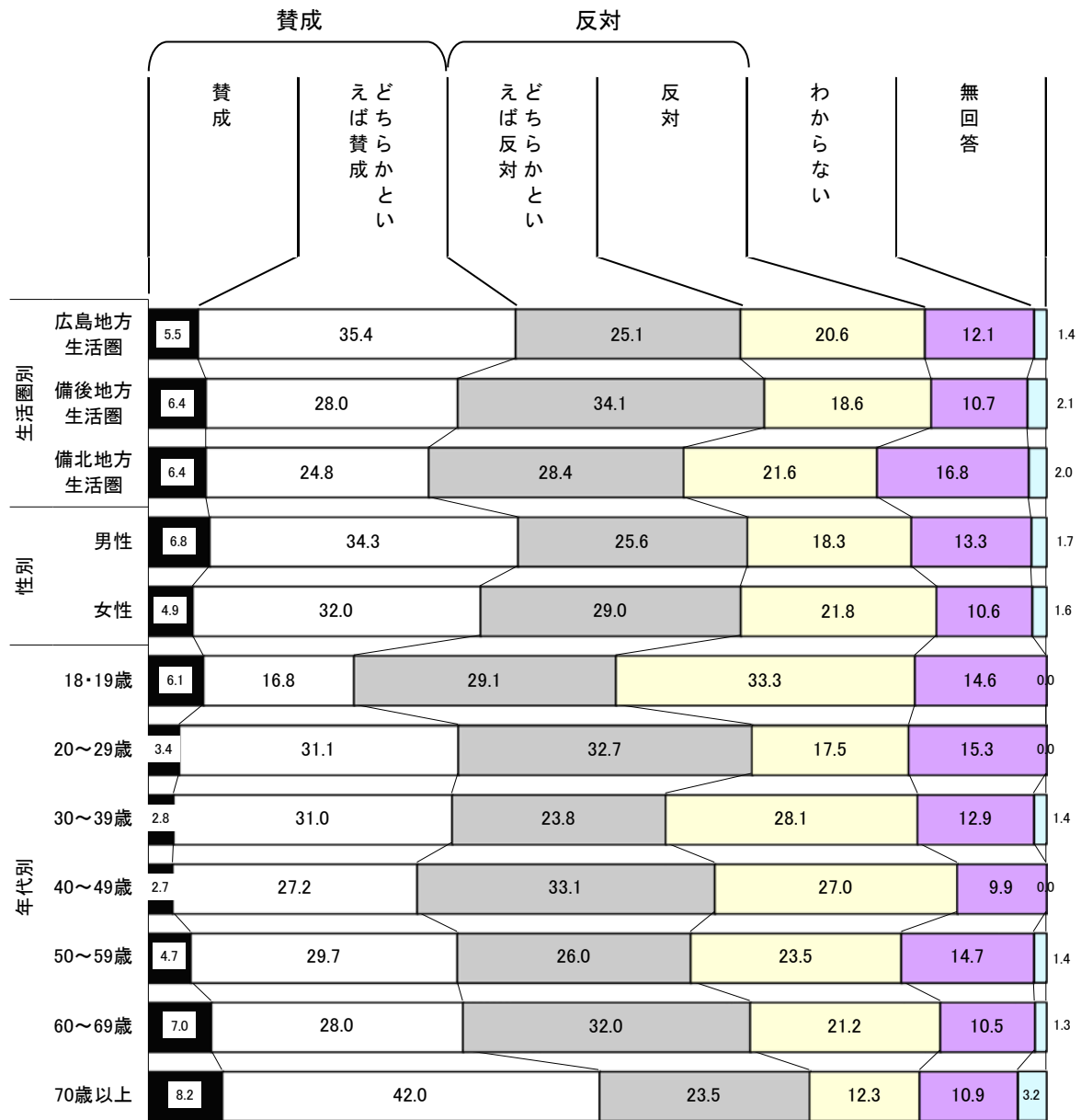
【性別】

男性は「賛成」が41.1%と女性と比べて4.2ポイント高くなっている。女性は「反対」が50.8%と男性と比べて6.9ポイント高くなっている。

【年代別】

「賛成」は70歳以上が50.2%と他の年代と比べて最も高く、「賛成」が「反対」を上回っている。一方で、60歳代以下では「反対」が「賛成」を上回り、中でも18・19歳は「反対」が62.4%と「賛成」(22.9%)を39.5ポイント上回っている。これに次いで「反対」の回答割合が高いのは40歳代(60.1%)である。

「夫は外で働き、妻は家庭で守るべきである」という考え方(生活圏, 性, 年代別)



(単位:%)

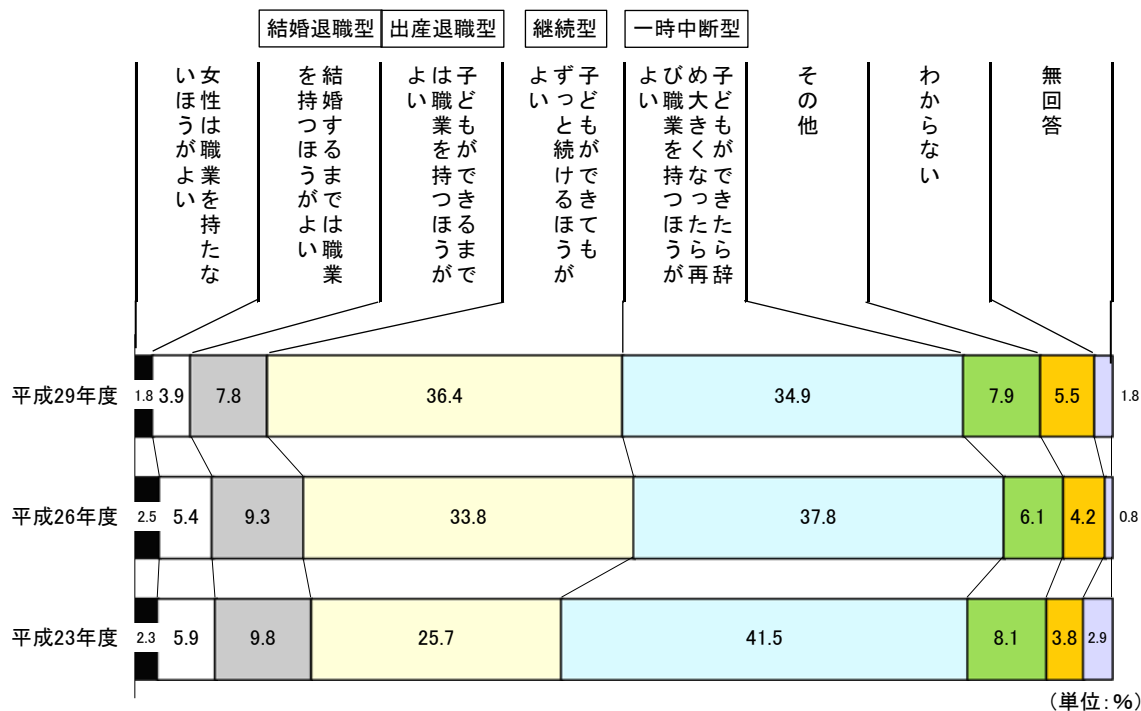
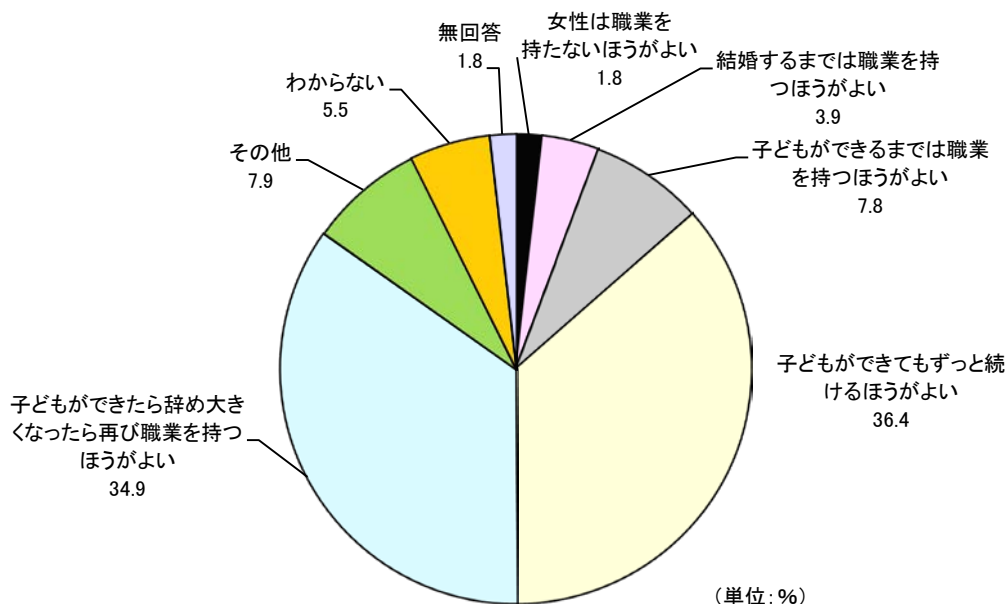
### (3) 女性が職業を持つこと

問9 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

**出産後も「継続型」が最多。前回より2.6ポイント増**

女性が職業を持つということについて、「子どもができて、ずっと続けるほうがよい」という「継続型」が望ましいと回答した割合が36.4%と最も高く、次いで「子どもができたなら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」という「一時中断型」が34.9%、「子どもができるまでは、職業を持つほうがよい」という「出産退職型」は7.8%となっている。

前回調査との比較では、「継続型」は2.6ポイント増加し、「一時中断型」は2.9ポイント減少している。また「退職型」(「結婚退職型」「出産退職型」)は11.7%と前回(14.7%)と比べて3ポイント減少している。



＜属性による比較＞

【生活圏別】

「継続型」と回答した割合は備北地方生活圏が42.8%と最も高く、最も低い広島地方生活圏(35.2%)と比べると7.6ポイント上回っている。

【性別】

男性は「出産退職型」と回答した割合が9.5%で、女性(6.5%)と比べて3ポイント高くなっている。

【年代別】

20歳代以下と70歳以上では「一時中断型」と回答した割合が4割前後と高く、30～50歳代は「継続型」と回答した割合が4割以上を占め最も高い。

女性が職業を持つこと(生活圏, 性, 年代別)

